

こがねい

放射能測定室だより

小金井市放射能測定器運営連絡協議会



夜

チェルノブイリ事故から30年

.....

かつて人類が経験したことのないチェルノブイリ原発の過酷事故から30年が過ぎました。事故では広島に投下された原爆約500発分もの放射性物質が放出されたと言われています。被ばくによる死者は4000人から100万人を超えると言う学者まで様々ですが、多くの命が失われ、その何倍もの人たちが今なお様々な疾患で苦しみ続けています。放射能汚染は長年消えることはなく、人々の不安と苦悩の日々も絶えることがないでしょう。

事故後の混乱の中で子どもたちを守るために、何よりも母親たちが欲しかったものは、食品の放射能を測る測定器だったそうです。「目の前の食べ物が汚染されているかどうか知るためには測るしかない」という切実な気持ちは、日本にいる私たちも同様でした。事故から8か月が経ったころから放射能汚染食品が輸入されるようになり「チェルノブイリ事故は私たち自身の問題なのだ」ということに気付いたのです。事故をきっかけに始まった私たちの測定活動も早や26年になりました。2011年3月、恐れていた事故が福島で起きてしまった時、殺到する測定依頼に応えるため皆で協力し合い懸命に測定作業を行いました。「測定する力を市民自らが持つ」ことの大切さを改めて実感した日々でした。

2度の大事故を経験してなお国は原発依存を続けています。次世代に大きな付けを残す愚かな選択に警鐘を鳴らしながら、これからも地道に測定活動を続けていきたいと思えます。

(中嶋 直子)

測定室だより22号(2015年発行)で掲載しました、2014年8月～2015年8月の10Bq/kg未満検体リストに誤り(測定月のずれ)がありました。再発防止につとめ、お詫びして下記にて訂正いたします。

【2014年8月～2015年8月】10Bq/kg未満検体 月別一覧 (数字は測定日)

※2014年7月中旬～2015年2月中旬までの期間は測定器修理のため測定を休止しました	
2月	/13 花豆(長野県) /18 しその実(福島県川俣町) /18 ナス(福島県伊達町) /20 ニンニク(福島県川俣町) /20 鶏肉(福島県川俣町) /25 ギンナン(不明) /27 白米(山形県) /27 麦茶(カナダ産)
3月	/4 ほうれん草(東京都小平市) /4 柿(市内) /6 みかん(市内) /6 米(福島県白河市) /11 柿(市内) /11 米(2013年産・栃木県) /16 柿(市内・2014年) /20 米(福島県) /20 しょうゆ(福島県) /25 玉露茶(佐賀県・2014年) /27 せんべい(日本) /27 せんべい(日本)
4月	/1 卵(福島県川俣町) /1 里芋(福島県川俣町) /3 ジャがいも(福島県川俣町) /3 竹の子ご飯の素(日本) /8 山菜ご飯の素(日本) /10 赤飯(日本) /10 さつまいも(焼き・茨城県) /15 エゾシカ肉(北海道) /17 水カレイ(生・茨城県) /17 なめたカレイ(生・宮城県) /22 煮豆(長野県) /22 大根(市内) /24 たけのこ(市内) /24 原木しいたけ(茨城県)
5月	/1 まいたけ(茨城県) /1 びわの葉(市内) /8 白米・炊飯(青森県) /8 自家製味噌(不明) /13 たけのこ(市内) /13 たけのこ(市内) /15 おかき(もち米・日本) /15 せんべい(日本・うるち米) /20 ポテトチップス(不明) /20 みかん(愛媛県) /22 ナチュラルミネラルウォーター(三重県) /22 玄米・炊飯(熊本県) /27 金柑(市内) /27 桑の実(市内・くじら山) /29 菌床しいたけ(群馬県) /29 麦茶(日本)
6月	/3 赤魚西京漬(ロシア) /3 びわの実(市内) /5 たけのこ(千葉県) /5 あじ(千葉県) /10 納豆(日本) /10 真いわし焼き魚(宮城県) /12 柿の葉(福島県) /17 胚芽米(福島県) /17 味付のり(有明産) /19 せんべい(不明) /24 むかどこ(不明) /24 味噌(不明) /26 焼き銀鮭(宮城県) /26 菌床しいたけ(新潟県)
7月	/1 ジャがいも(埼玉県) /1 緑茶(日本) /3 ニジマス甘露煮(不明) /8 やまもも(市内本町) /8 麦茶(日本) /10 ラーメンの麺(不明) /10 どくだみ草(市内緑町) /15 桃ジュース(福島県) /15 たら(焼き・北海道) /17 押し麦(日本) /17 乾めん(不明) /22 ぶり・天然(千葉県) /24 ライスミルク・玄米飲料(日本) /24 ジャがいも(東京都江戸川区) /29 ブルーベリージャム(フランス) /29 スズキ(焼き・神奈川県) /31 ニジマス甘露煮(埼玉県) /31 粉末茶(静岡県)
8月	/5 ピーマン(青梅市) /5 ビワの葉(市内) /7 れんこん(茨城県) /19 ジャがいも(東京都江戸川区) /19 せんべい(不明) /21 パエリアソース(タイ) /21 ブルーベリー(東京都青梅市) /26 白米(岩手県宮古市) /28 きのこと惣菜(ぶなしめじ・なめこ・日本) /28 子持ちわかさぎ甘露煮(わかさぎ・中国)

【2015年9月～2016年8月】10Bq/kg未満検体 月別一覧 (/数字は測定日)

9月	/2 ブルーベリー (東京都東久留米市) /2 栗 (東京都東久留米市) /4 ブルーベリー (市内前原町) /4 粉ミルク (不明) /9 焼マス (埼玉県秩父市) /9 黄桃煮 (福島県) /11 シソ (市内桜町) /11 めかじき (日本北部太平洋) /16 きはだまぐろ (焼・千葉県) /18 ちらし寿司の素 (不明) /18 わかさぎ煎餅 (わかさぎ・中国) /25 さば水煮缶 (さば・日本) /25 白桃シロップづけ (東北) /30 いくら (不明) /30 生しいたけ (岩手県)
10月	/2 食パン (日本) /2 温州みかん (9/30採取・市内貫井北町) /7 生わかめ (岩手県) /7 さんま開き (焼きほぐし・北海道) /9 サメ (蒸し・宮城県) /9 栗渋皮付き /14 きやらぶき (日本) /14 柿 (皮付き・東京都三鷹市) /16 ローリエ (トルコ) /16 葛粉 (南九州) /21 猪肉 (焼肉・埼玉県秩父市) /23 精米 (宮城県加美郡加美町)
11月	/18 柿 (福島県川俣町) /19 ゆず (福島県川俣町) /20 玉ねぎ (福島県川俣町) /20 キウイ (福島県川俣町) /25 柿 (市内前原町) /25 里芋 (福島県川俣町) /27 水 (市内) /27 柿 (市内)
12月	/2 パンケーキミックス (日本) /2 にんにく (福島県川俣町) /4 むかごと里芋 (福島県川俣町) /4 かぼちゃ (福島県川俣町) /9 じゃがいも (福島県川俣町) /11 ローズマリー (市内梶野町) /11 小豆 (福島県川俣町) /16 柿 (茨城県つくば市) /16 柿 (市内) /18 白米 (福島県白河市) /18 白菜 (福島県川俣町)
1月	/8 大根 (福島県川俣町) /8 緑茶 (日本) /13 わかめ (三陸産) /13 キクイモ (千葉県我孫子市) /15 猪肉 (神奈川県相模原市) /15 まいたけ (群馬県) /20 しいたけ (菌床・群馬県渋川市) /22 野草混合茶 (日本 韓国 中国) /22 渋柿 (岩手県) /27 大豆 (神奈川県相模原市) /27 とうねずみもちの実 (神奈川県相模原市) /29 シラカシのどんぐり (神奈川県相模原市)
2月	/3 味付のり (日本) /3 ラーメン乾麺 (福岡市) /5 菜の花 (千葉県) /5 生わかめ (宮城県) /10 小女子のくぎ煮 (宮城県女川港) /10 麦茶 (日本) /12 天然ぶり (千葉県房総沖) /12 キンメダイ (千葉県) /17 みかん (神奈川県) /17 りんご (すりつぶし) (岩手県) /19 玄米フレーク (不明) /24 干しいも (千葉県) /24 おからパウダー (北海道 宮城県 福島県)
※2016年3月～7月中旬までの期間は測定器修理のため測定を休止しました	
7月	/15 はちみつ (サクラ・福島県会津美里町) /15 はちみつ (レンゲ・福島県会津美里町) /20 椎茸エリンギ佃煮 (日本) /20 金目鯛 (東京都) /22 乾うどん (米国 カナダ オーストラリア) /22 たけのこ (市内) /27 もも (福島) /29 真だら (可熱・岩手県) /29 そうめん (オーストラリア 日本 米国 カナダ)
8月	/3 シリアル (オールブラン・オーストラリア) /3 乾うどん (日本 オーストラリア 米国 カナダ) /5 じゃがいも (市内) /5 こんにゃく (東京都檜原村) /19 しめじ (日本) /19 製茶 (日本) /24 白桃缶詰 (日本) /24 梨 (千葉県市原市) /26 小麦粉 (東京都三鷹市) /26 ザーサイ (中国) /31 きな粉 (北海道) /31 静岡茶羊かん (静岡県)

【2015年9月～2016年8月】10Bq/kg以上検体

測定日	測定品目	産地	測定結果(Bq/kg)
9/16	ローリエ1986年*1	トルコ	304.75
10/21	野生鹿 焼肉	埼玉県秩父市	10.55
1/20	アワビタケ	埼玉県渋川市	11.55
1/29	どくだみ茶	長野県	11.66

*1 セシウムの減衰状況を把握するため、経年測定しています

※ 測定結果はセシウム134とセシウム137の合計です(Bq/kg)

※ 検体は洗浄・未洗浄に関わらず依頼者が持ち込んだ状態で測定しています

※ 10(Bq/kg)が検出限界(数値測定できる下限値)です

下記測定結果の公表を控えます。

2/19 どくだみ・ハト麦ブレンド茶(岩手県)…測定容量不足のため

■放射能測定機器：Na検出器：CANBERRA 802-4 結晶サイズ 3×3インチ

マルチチャンネルアナライザー：CANBERRA シリーズ20

■測定方法：200cc 6時間 食品中のセシウム134およびセシウム137の放射能濃度を測定

測定器故障と測定結果から

四半世紀を超えて使用している現測定器はここ数年毎年故障し、昨年秋と今年2月末～6月まで修理のために測定を休止しました。修理不可能になるのは時間の問題です。幸い高性能の測定器のため、修理しながらでも信頼できる測定ができています。小金井市からは、財政難のため市が今と同等の新測定器を購入することは難しいと言われていています。新測定器を導入したくても厳しい状況で、測定室としても頭を抱えています。

最近の測定結果からは、市場に出回っているものから高い数値は出ていません。ただ、北関東のキノコ類、市内(依頼者宅庭)のどくだみ草からは10ベクレル以上の数値が出ています。キノコ類や水はけがわるく土が入れ替わらない場所の野草は、測定してから利用することをお勧めします。

【市内どくだみ草の定点測定】

測定日	測定品目	産地	測定結果(Bq/kg)
2013/04/16	どくだみ草	小金井市	110.76
2014/05/21	どくだみ草	小金井市	25.64
2015/06/19	どくだみ草	小金井市	43.59
2016/07/08	どくだみ草	小金井市	19.20
ゲルマニウム半導体検出器による精密測定／新宿代々木市民測定所			
2016/07/19	どくだみ草	小金井市	16.9

書籍紹介

■わたしは忘れない

震災から5年をむかえた2016年3月、小金井で活動している「子どもと未来を守る小金井会議」は、これまでの活動記録を出版しました。開催や協力したイベントについて、当時にふりかえって書いたメンバーの生活と子育ての記録、さまざまな立場の方からの寄稿文、小金井市の放射能測定結果など収録しています。



わたしは忘れない 小金井の3.11

子どもと未来を守る小金井会議 編

価格：450円

2016年3月30日 発行

A6判83頁

取り扱い店：セレクトショップゆうすい

小金井中町4-14-15 プエルト小金井ビル1階

問い合わせ：koganeikodomira@gmail.com

■資料集 市民と自治体による放射能測定と学校給食

チェルノブイリ30年とフクシマ5年の小金井市民の記録

「測定室だより」のバックナンバーも全号収録していただきました。3.11後、チェルノブイリ事故後から続けてきた測定室の活動も牽引力となって、学校給食の放射能測定が強化された経過資料も豊富に掲載。「保護者・教職員・研究者・自治体が放射能汚染問題に今後どのように取り組むべきかを示す 貴重な資料集」として紹介されています。



資料集 市民と自治体による 放射能測定と学校給食 チェルノブイリ30年とフクシマ5年の 小金井市民の記録

大森直樹 監修

東京学芸大学教育実践研究支援センター 編

明石書店

価格：3000円+税

2016年7月30日刊行

B5判336頁

見えない放射能汚染を可視化する

～26年間の小金井の放射能測定から

小豆川勝見先生 講演会

.....

7月24日、小金井市 貫井北センターにて東京大学の小豆川勝見先生を講師に迎え、「見えない放射能汚染を可視化する」というテーマで講演会を開催しました。硬いテーマにもかかわらず会場は満員、福島県からの参加者もあり大盛況でした。様々な現場での測定の話や学術的な難しい話も、先生の巧みな話術で引き込まれる2時間となりました。

私たち協議会では、1990年から測定活動を小金井市と協働で続けており、2011年3月当時の福島第一原発事故直後の測定データを保有しています。小豆川先生にはこのデータが大変貴重なものであるとして、非常に高い評価をいただきました。事故が起こるとどういう事態になるか、過去の数値があれば判断する材料になるのです。

福島第一原発の事故から5年が過ぎ、放射能について大人はもう「知らない」とは言えない、と小豆川先生は話されました。食品から放射能の数値が検出されたら、知識をもってどうすべきかを判断するのが大人の責任、とも。そのためにも、半減期30年のセシウム137は、今後も継続して測って可視化することが重要で意義がある、とのお言葉もあり、測定活動を後押ししてくださいました。



会員募集中

小金井市放射能測定器運営連絡協議会の活動は、ボランティアの会員によって行われています。協議会では、現在会員募集中です。現在会員は20名程度、毎月の定例ミーティングでは、測定結果の詳細な内容などを確認したり放射能問題に関する情報交換等も行っています。測定は各自出来る範囲のスケジュールで交代で行っています。測定員にならなくても、WEBや事務作業その他の作業などを分担する場合があります。自ら測定したり、情報交換する事で、放射能についての知識が深まります。原発、放射能問題に関心の高い方は会員になってみませんか？ 興味のある方、ご質問のある方は下記までご連絡下さい。

・年会費:1500円

・基本的に、月一回のミーティングに参加出来る方

・まずは測定室やミーティングをご見学いただき、その上で考えていただく事も可能です

小金井市放射能測定器運営連絡協議会事務局

電話番号：042-384-0053（香田 頼子）

e-mail：koganei.sokutei@gmail.com

公式サイト：http://hosyanousokuteishitsu-koganei.jimdo.com/

放射能測定 検体募集中

小金井市に在住・在勤・在学の方で、気になる食品の放射能測定をしたい方はどなたでも無料で利用出来ます。下記の手順で小金井市役所経済課にお申し込み下さい。(非営利目的に限ります)



●検体は200ccの容量が必要です(重さではなく、容量なのでご注意ください。スパゲッティでは150gくらい、生しいたけでは210gくらいなど、同じ容量でも食品によって重量が異なります。)

●検体はミキサーなどで細かく砕いておいてください

●測定済み検体と測定結果の受け取り方法は協議会とご相談ください

●食品に限ります

●無料です

測定場所：

小金井市立上之原会館

武蔵小金井駅北口5分

〒184-0004

東京都小金井市本町5-6-19

申し込み・問い合わせ

小金井市役所 経済課

042-387-9831